

沖縄・辺野古

新基地強行許されない

「作業停止を指示」「従わなければ岩礁破碎許可取り消しも」。沖縄県の翁長雄志知事は、辺野古の米軍新基地建設阻止へキッパリ表明しました。



辺野古の海

県民の審判は明白

翁長知事が岩礁破碎許可取り消しの意向を強く示した最大の理由は、県の許可区域外に投入された最大45トンの巨大なコンクリートブロックがサンゴ礁などを破壊している可能性が高い、ということです。

菅官房長官は知事の指示に対し「この期に及んで甚だ遺憾だ」などと言っています。しかし、翁長氏が圧勝した知事

日本共産党

選、沖縄の4小選挙区で新基地反対の「オール沖縄」候補が完勝した総選挙結果など県民の意志は明らかです。

「この期に及んで」あくまで新基地建設を強行しようとするところこそ、民主主義の国として決して許されません。

集団的自衛権行使容認に反対です 日本共産党

内閣総理大臣 安倍晋三殿 【要望事項】 一、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回すること
一、集団的自衛権行使のための立法措置をおこなわないこと。

氏 名	住 所

取扱団体 ● 日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】 この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115にお送り下さい。

「戦争立法」

憲法9条
全面破壊

ストップの願い 日本共産党へ



米海兵隊との共同演習で射撃訓練をする陸上自衛隊員（米海兵隊ウェブサイトに掲載）

「切れ目なく」米軍支援

安倍政権はいつでも、どこでも、米国が起こすあらゆる戦争に自衛隊が参戦・支援する「戦争立法」の作業を急いでいます。5月の連休明けにも国会提出し、力づくで押し通す構え。集団的自衛権容認の「閣議決定」（昨年7月）の具体化で、2つの大問題があります。

①米国が世界のどこであれ、戦争に乗り出した際に、

自衛隊が従来の「戦闘地域」まで行って軍事支援する。

②どういった場合に集団的自衛権を発動するかは、時の政権の裁量で無限定。米国の先制攻撃戦争に参戦することもある——憲法9条の全面的な破壊です。

日本共産党は反戦・平和をつらぬいて93年、「戦争立法」ストップの声を託して下さい。

近畿民報

2015年4月 No.1 (第192号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目15番7号USビル2F
Tel.06 (6764) 9111 Fax.06 (6764) 9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。